

2019 年度 春季中部学生ヨット選手権大会

開催地：三重県津市 伊勢湾海洋スポーツセンター沖

大会期間：平成31年3月23日（土）～平成31年3月24日（日）

共同主催：中部学生ヨット連盟 三重県ヨット連盟

協力：伊勢湾海洋スポーツセンター

レース公示

1. 規則

- (1) 本大会には、以下の規則を適用する。但し、いずれも本大会帆走指示書により追加もしくは変更されたものを除く。
- (2) 本大会には、2017～2020「セーリング競技規則」（以下、RRS という）に定められた規則を適用する。付則 P を適用する。
- (3) 本大会には、470 クラス学連申し合わせ事項、スナイプクラス学連申し合わせ事項、全日本学生ヨット連盟規約を適用する。但し、SCIRA 規則公認レガッタの運営規則は除きスナイプクラス国内規則に準ずるものとする。

2. 競技種目

国際 470 クラス・国際スナイプクラス

3. 日程

- (1) 3月23日（土）
- (2) 受付 8:30～8:50
- (3) 開会式 9:00～

1日目 第1レース（スタート予告信号時刻）

国際 470 クラス・国際スナイプクラス 10:00

* 1日目第1レース終了後、以降のレースを順次行う

- (4) 3月24日（日）

2日目 第1レース（スタート予告信号時刻）

国際 470 クラス・国際スナイプクラス 9:30

* 2日目第1レース終了後、以降のレースを順次行う

最終レース終了後 表彰式、閉会式

- ・天候その他の事情により、競技日程はレース委員会において変更することがある。
- ・他のレースについては各クラス終了後、随時行うものとする。
- ・1日目は、15:01 以降、2日目は 12:31 以降のスタートは行わない。
- ・本大会のレース回数は最大 8 レースとする。

4. 参加資格と参加条件

- ① 本大会エントリー表に登録済みであること。
- ② 2018 年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
- ③ 国際スナイプクラスの乗員（ヘルムスマン、クルー共に）は 2018 年度 SCIRA 登録済みであること。
- ④ 本大会に参加するチームは、参加申込書を締め切りまでに提出していること。
- ⑤ 艇は 1 チーム 3 艇とし、セールは各クラスとも 1 チーム 3 セットとする。
- ⑥ 監督、コーチは（公財）日本セーリング連盟会員であること。
- ⑦ 豊田自動織機海陽ヨットハーバー等が主催する 2018 年度のレスキュー訓練・安全講習会等に大学内で 1 名以上参加していること。
- ⑧ JSAF が実施する以下のバッチテストを取得していること。
- ⑨ ヨット部 2 年目までは初級以上保有
- ⑩ ヨット部 3 年目以上は中級以上保有
- ⑪ バッチテスト未保有者は、3 月に愛知県ヨット連盟が主催するバッチテストの申し込みを完了していること。

5. 参加料

国際 470 クラス・スナイプクラス 1 艇 ¥10,000 円とする。

但し、3 艇エントリーチームは、25,000 円とする。

6. 艇

- ① 艇は原則として自己所有艇とする。またレース委員会が認めた場合に限りチャーター艇も可とする。
- ② 艇は 2018 年度団体登録を済ませた艇であること。
- ③ 国際スナイプクラスは 2018 年度 SCIRA 登録を済ませた艇であること。

7. セール

- ① 各チームが持参したセールを使用すること。
- ② チャーター艇についても各チームが持参したセールを使用すること。
- ③ JSAF が認めた公式計測員が 2018 年に計測をしたことを証明することができるセールを使用すること。
- ④ 同一のセールナンバー（ダッシュが付いているナンバーも）を同時に使用してはならない。
- ⑤ 国際 470 クラスはメインセールとスピナーカーは同一ナンバーでなければならない。
- ⑥ 各艇 1 セットの予備セールを認める。予備セールの番号はオリジナルのセール番号と異なってもよいが国際 470 は、(5) を満足すること。

8. コース

コースは、上下のコースとする。

9. 参加申し込み

参加申込書、エントリー表の送付および参加費の振り込みを3月3（日）までに行う事により申し込みとする。申込期限以降の申し込みについては、50%のレートエントリー費を支払う事でエントリーを認める。エントリー表は、送付先電子メールアドレスにExcel形式で申し込むこと。

① 送付先

氏名 真野 創太

e-mail: chubu_icyf@yahoo.co.jp

② 振込先

三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番532 普通0090156

中部学生ヨット連盟 会長 石倉 俊宏

10. 帆走指示書の交付

2019年3月11日（月）までに愛知県ヨット連盟および中部学生ヨット連盟ホームページへ掲載する。<http://www.ayf.jp/school/>

11. 得点

- ① クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースについて、チームごとに全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。
- ② これはRRS付則A2を変更している。
- ③ 総合のチーム順位は、両クラスとも本大会に出場したチームのうち、両クラスの本大会の全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。
- ④ タイについては、RRS付則A8を適用する。但し、RRS付則A8記載の「艇」を「チーム」と読み替えた上で適用する。
- ⑤ 本大会は各クラス有効1レースにて成立する。

12. 受付

参加大学は受付時に次の書類を提出することにより受付を完了させなければならない。ただし、2018年中部学生ヨット連盟主催大会において提出済みであれば提出を省略できる

- ① 日本セーリング連盟会員証。
- ② 国際470クラスは計測登録証明書及びINTERNATIONAL 470CLASS MEASUREMENTFORMを、国際スナイプクラスは計測証明書。
- ③ 国際スナイプクラスの乗員（ヘルムスマン、クルー共に）はSCIRA登録会員証。
- ④ JSAFが認めた公式計測員が2018年に艇、セールを計測し承認した証左。

13. 賞

賞は次のように与えられる。

各クラス・総合	賞状1位～3位
総合優勝	優勝旗

14. 支援艇・応援艇[DP]

- ① 支援艇・応援艇とは、監督、コーチ、その他の支援要員及びチームを支援・応援する関係者が乗艇する全ての艇を指す。
- ② ヨットハーバー内では、支援艇・応援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。
- ③ 支援艇・応援艇は、出艇時にレース委員会から指定される無線機を受け取らなければいけない。また、常時その無線を傍受し呼び出された場合は応答しなければいけない。
- ④ 支援艇・応援艇は、レース委員会よりレスキュー要請を受けた場合は、対応しなければならない。

15. 免責

RRS4に基づき競技者は自分自身の責任で大会に参加するものとする。

主催団体は大会前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16. その他

特別な理由がある場合を除き、本レースに不参加のチームは、2018年度秋季中部学生ヨット選手権大会に出場し上位成績を取得しても第84回全日本学生ヨット選手権大会に推薦されない。

17. 連絡先

氏名：真野 創太 E-mail: chubu_icyf@yahoo.co.jp

レースエリア



以上